

長野市総合計画審議会作業部会（市民フォーラム21）の運営について（案）

1 趣旨

長野市総合計画審議会作業部会（市民フォーラム21、以下「作業部会」という。）の会議運営の方針等について定めるものです。

2 任務

作業部会は、長野市総合計画審議会（以下「審議会」という。）の付属機関として、市長から審議会に諮問された第四次長野市総合計画後期基本計画（以下、「後期基本計画」という。）の策定に必要な事項を検討します。

3 会議の公開

作業部会の会議は、公開とします。ただし、作業部会部会長が非公開とすることが必要と認める場合は、非公開とします。

4 会議運営方法

作業部会の議事進行及び意見の集約は、部会長が行うこととし、全員で意見やアイデアを出し合いながら進めます。

5 作業部会（市民フォーラム21）部会員の役割

作業部会部会員は、市民の立場（視点）から、経験や見識に基づき、計画の策定に必要な事項の意見交換などを通じて、計画の策定に向けて検討します。

6 長野市総合調整会議専門部会員の役割

作業部会には、議題に関係する長野市総合調整会議専門部会部会員（以下「関係職員」という。）が同席します。

関係職員は、部会員から資料内容や市の施策等について質問があった場合には、回答するとともに、行政の立場（視点）から計画の策定に必要な事項の意見交換を行います。

なお、関係職員は作業部会の決定に加わることはできません。

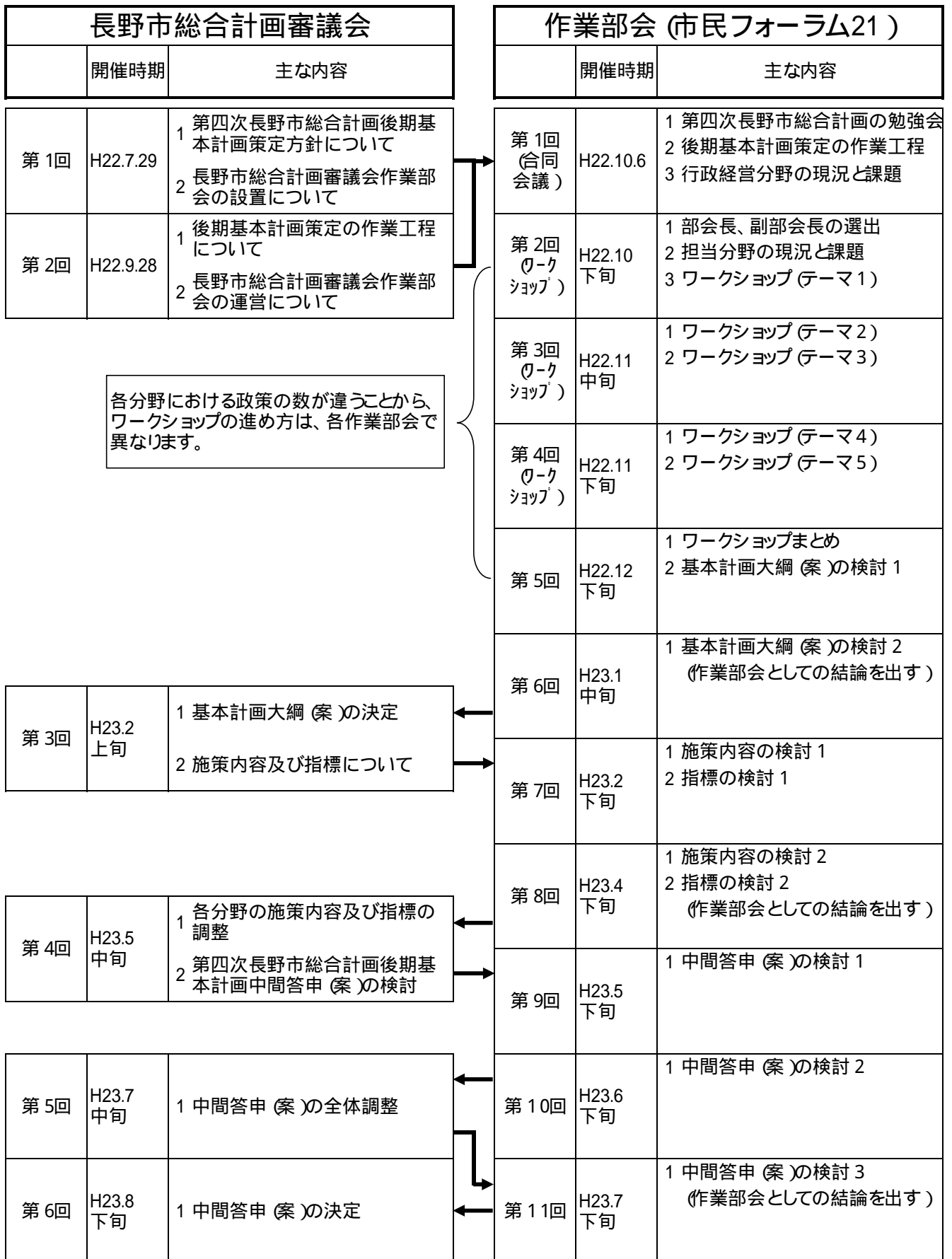
7 作業部会の合同開催

作業部会は、他の作業部会と合同で会議を開催することができます。その場合、関係する部会長が協議して決定します。

8 会議の予定

後期基本計画中間答申（案）決定までのながれは、次のとおりです。

第四次長野市総合計画後期基本計画中間答申(案)決定までのながれ
会議は予定であり、審議の状況により、開催しないことがあります。



ワークショップの進め方

1 ワークショップ開催の目的

長野市総合計画審議会作業部会（市民フォーラム21）と長野市総合調整会議専門部会（市職員）が第四次長野市総合計画後期基本計画案を協働で検討するために、ワークショップを開催します。

このワークショップは、前期基本計画の政策をテーマとして、現状と課題を整理し、解決策や今後の取組方針、方向性を探るためのものです。

ワークショップを通じて、参加者の考えや思い、アイデアを引き出すとともに、意見交換や討議の内容を具体的な議論への足がかりとし、ワークショップの成果である意見交換や討議の結果を基本計画大綱（案）、中間答申（案）及び答申（案）へ繋げます。

2 ワークショップの手法

（1）グループ分け

作業部会員（市民）と専門部会員（市職員）の混成により、当日の出席者を2グループ（1グループは原則として7～8名（作業部会5名程度＋専門部会3名程度））に分けます。

グループ分けは出席者の状況で当日決めることとし、同一テーマ（又はグループごとに違うテーマ）について議論します。

（2）役割分担

グループ編成したら、作業部会員の中から、リーダー（進行役）と書記、発表者を決めます。

（3）進行

グループ討議の進行はリーダーが務めます。

リーダーは、ワークショップのテーマ（前期基本計画における政策を単位）に沿い、グループ内の意見を次のとおりまとめます。

ワークショップの参加者は、「事前課題シート（宿題）」に、自分の考えや思い、アイデアを記入してきた内容を付箋に記入し、その付箋を模造紙上に貼ります。付箋の右下には、発言者の名前を書くこととし、提案する付箋の枚数に制限はありません。

模造紙に貼った付箋は同じような考えや思い、アイデアを項目別に括り、キーワードでつなぎ、分類整理します。

分類整理ができたなら、付箋の内容について、グループ内で発表（一人2分以内）します。

専門部会員（市職員）は、作業部会員の意見に対し、現状や課題を説明する必要がある場合は、施策の現況と課題をもとに、内容を付箋に書き、議論を深めるよう説明します。

発表者の意見をもとに、同じ考え（関連する事項）を持つ人が発表を重ね、討議を繰り返します。

模造紙に貼った付箋は、解決策や今後の方向性、それぞれの項目分けをした内容の関連性を考えます。

(4) 書記

書記は、発表に必要な事項を模造紙上に記録します。

(5) 発表

発表者は、グループで討議したワークショップの結果を付箋で分類整理した模造紙を使って発表します。

(6) 意見交換

お互いのグループの発表をもとに、グループ間で意見交換を行い、新たな視点や欠落した視点がないか、多角的に確認します。

(7) まとめ

問題解決のためのワークショップではないことから、ワークショップの各テーマは原則として1回で完結することとし、結論はその場では出しません。

なお、ワークショップの議論は、模造紙に集約した内容を事務局で整理し、参加者に配布します。

また、ワークショップのまとめは、第5回及び第6回作業部会で行います。

(8) その他

ワークショップで議論(発言)し忘れたことがあれば、内容の補足を提出しても良いこととします。

3 事前課題

ワークショップの開催前に、テーマに関するご自分の考えや思い、アイデアを考えるために、政策ごとに事前課題(宿題)を提示します。

テーマ(政策)に関して、ご自分の考えや思い、アイデアをもとに、「満足していること」、「不満に思っていること」、「不満を解消するための提案」の3つの視点から意見をまとめ、事前課題シートを作成します。

4 開催日時

作業部会別に別紙開催日程(案)のとおり進めます。

平成22年度長野市総合計画審議会作業部会 (市民フォーラム21) 開催日程 (案)

		保健福祉部会	環境部会	防災・安全部会	教育・文化部会	産業・経済部会	都市整備部会
第1回	日時	10月6日 (水)					
	時間	15:00 ~ 17:00					
	会場	ふれあい福祉センター 5階ホール					
	内容	勉強会					
第2回	日時	10月21日 (木)	10月21日 (木)	10月21日 (木)	10月20日 (水)	10月22日 (金)	10月22日 (金)
	時間	13:00 ~ 15:00	9:30 ~ 11:30	15:00 ~ 17:00	9:30 ~ 11:30	15:00 ~ 17:00	9:30 ~ 11:30
	会場	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室19	第2庁舎10階 会議室19	第2庁舎10階 会議室17	第2庁舎10階 会議室17
	内容	現況と課題説明 (ワークショップ)					
	テーマ1	生きがいのある豊かな高齢社会の形成	豊かな自然環境の保全と創造		地域から広がる国際交流の推進	活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化	
第3回	日時	11月10日 (水)	11月12日 (金)	11月12日 (金)	11月10日 (水)	11月11日 (木)	11月8日 (月)
	時間	13:00 ~ 15:00	15:00 ~ 17:00	13:00 ~ 15:00	9:30 ~ 11:30	9:30 ~ 11:30	15:00 ~ 17:00
	会場	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第2委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第2庁舎10階 会議室19
	内容	ワークショップ					
	テーマ1	人権を尊ぶ明るい社会の形成	資源が循環する環境共生都市の実現	災害に強いまちづくりの推進	躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上	魅力と賑わいあふれる商業の振興	いきいきと暮らせるまちづくりの推進
テーマ2	自分らしく生きられる社会の形成			ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承	特色ある産業の集積と工業の高付加価値化		
第4回	日時	11月26日 (金)	11月26日 (金)	11月25日 (木)	11月24日 (水)	11月25日 (木)	11月29日 (月)
	時間	13:00 ~ 15:00	9:30 ~ 11:30	15:00 ~ 17:00	9:30 ~ 11:30	9:30 ~ 11:30	15:00 ~ 17:00
	会場	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室19
	内容	ワークショップ					
	テーマ1	安心して暮らせる生涯健康づくりの推進	良好な生活環境の形成	より安心して暮らせる安全社会の形成	次世代を担う人材の育成と環境の整備	賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進	まちを結ぶ快適なネットワークの形成
テーマ2	安心して子育て・子育てができる環境の整備			豊かに学びあう社会の形成	人材の育成と雇用機会の確保		

		保健福祉部会	環境部会	防災・安全部会	教育・文化部会	産業・経済部会	都市整備部会
第5回	日時	12月27日(月)	12月27日(月)	12月28日(火)	12月24日(金)	12月22日(水)	12月27日(月)
	時間	13:00～15:00	9:30～11:30	9:30～11:30	9:30～11:30	15:00～17:00	15:00～17:00
	会場	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室18	第2庁舎10階 会議室19	第2庁舎10階 講堂
	内容	ワークショップ(政策別)のまとめ1(計画大綱(案)の検討)					
第6回	日時	1月21日(金)	1月21日(金)	1月20日(木)	1月19日(水)	1月19日(水)	1月20日(木)
	時間	13:00～15:00	15:00～17:00	15:00～17:00	15:00～17:00	9:30～11:30	9:30～11:30
	会場	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第2委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室
	内容	ワークショップ(政策別)のまとめ2(計画大綱(案)の検討)					
第7回	日時	2月22日(火)	2月24日(金)	2月23日(水)	2月23日(水)	2月24日(金)	2月22日(火)
	時間	13:00～15:00	9:30～11:30	9:30～11:30	15:00～17:00	15:00～17:00	15:00～17:00
	会場	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	第1庁舎8階 第1委員会室	職員会館 3階会議室
	内容	指標及び主な取組みの検討					

日程は予定であり、変更となる場合があります。

第四次長野市総合計画後期基本計画ワークショップ【事前課題シート】

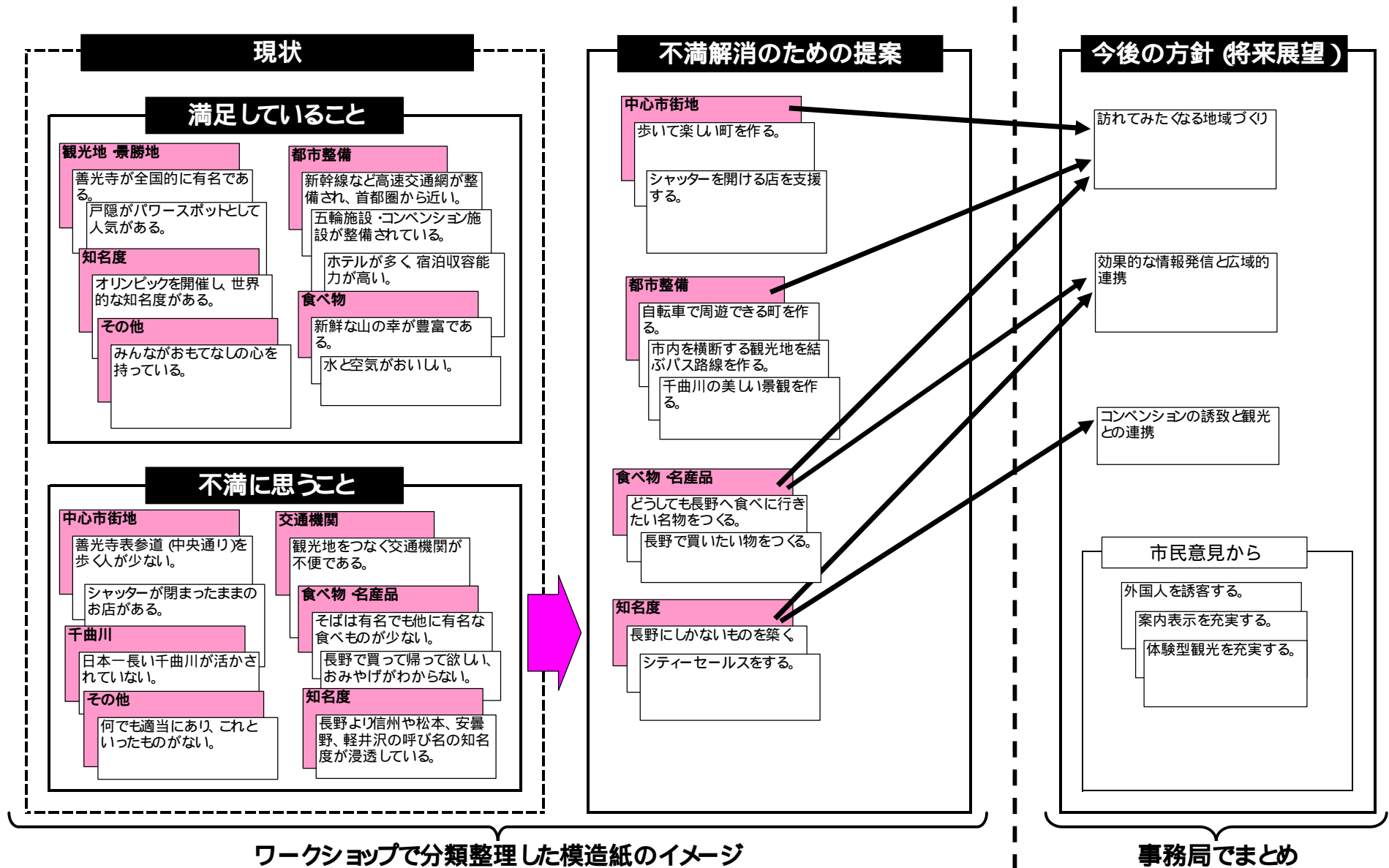
政策	賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進
基本施策	0 1 多様な観光交流の推進
	0 2
	0 3
アンケート指標	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている。

部会名 産業・経済
 開催日 10月31日
 会場

満足していること	不満に思うこと	不満を解消するための提案(解決策)
<ol style="list-style-type: none"> 善光寺が全国的に有名である。 戸隠がパワースポットとして人気がある。 オリンピックを開催し、知名度が高い。 新幹線など高速交通網が整備され、首都圏から近い。 五輪施設をはじめ、コンベンション施設が整備されている。 ホテルが多く、宿泊収容能力が高い。 新鮮な山の幸が豊富である。 水と空気がおいしい。 みんながおもてなしの心をもっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 善光寺の表参道を歩く人が少ない。 シャッターが閉まったままのお店がある。 観光地をつなぐ交通機関が不便である。 そばは有名でも他に有名な食べ物が少ない。 日本一長い千曲川が活かされていない。 長野より信州や松本、安曇野、軽井沢の呼び名の知名度が浸透している。 何でも適当にあり、これといったものがない。 長野で買って帰って欲しい、おみやげがわからない。 	<ol style="list-style-type: none"> 歩いて楽しい町を作る。 シャッターを開けるお店を支援する。 自転車で周遊できるまちづくりをする。 どうしても長野へ食べに行きたい名物をつくる。 千曲川の美しい景観を作る。 シティーセールスをする。 長野にしかないものを築く。
<p>このシートは記入例で、内容は架空のものです。</p>		

この表は、ワークショップの討議結果を「模造紙」にまとめたイメージです。内容は、架空のもの(例)です。

ワークショップテーマ(政策): 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進



ワークショップで分類整理した模造紙のイメージ

事務局でまとめ

長野市総合計画後期基本計画大綱(案)まとめ(イメージ)

この表は、基本構想の内容(政策)に部会の議論の積み上げを体系化したもので、後期基本計画の体系の基本となります。

主な取組(キーワード、要素)欄に記載された事項は、次のとおりです。

前期基本計画に記述のもの

前期基本計画に記述のものかつワークショップで検討された項目

W:ワークショップで新たに検討された項目

S:その他

政策	賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進
5-1	
アンケート指標	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている。

基本施策名称			
施策名称		主な取組(キーワード、要素)	
1	多様な観光交流の推進		
	1 訪れてみたくなる地域づくり		
		年次計画による集中的な事業展開、成功事例の共有	
		滞在型、周年型観光、体験型観光への転換、産業観光、自然体験	
		街中の回遊性の向上、楽しい町を作る(中心市街地)	W
		シャッターを開ける店の支援(中心市街地)	W
		分かりやすい案内表示、駐車場情報の提供	
		観光客の受入れ体制を整備・充実	
		外国人の誘客	S
		団塊の世代を意識した取り組み	
		自転車で周遊できるま町、観光地を結ぶバス路線(都市整備)	W
		千曲川の美しい景観作り(都市整備)	W
		...	S
		おもてなしの心あふれるまちづくりと人づくりの推進	
		地場産品、食のメニュー開発(食べ物・名産品)	
		地域資源の活用、地域ブランド	
		選ばれるまちづくり	W
		人を魅了するまちづくり	W
		...	S
	2 効果的な情報発信と広域的な連携		
		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>このイメージは、事務局がワークショップでの議論をもとに、整理したイメージで、内容は架空のものです。</p> </div>			